



## Fiery options 1.4 Help (client)

© 2023 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2023年10月12日

# 目次

クライアントコンピューターの Fiery オプションライセンスの管理 .....	5
ライセンスを管理する .....	5
プロキシサーバーの設定 .....	6
ライセンスアクティベーションページの使用 .....	6
ライセンスアクティベーションページへのアクセス .....	6
ライセンス通知 .....	7
Fiery オプションのアクティベーション .....	7
Fiery オプションを自動でアクティベートする .....	8
一時ライセンスを自動アクティベートする .....	8
Fiery オプションを手動でアクティベートする .....	9
Fiery オプションのアップグレード .....	9
Fiery オプションのアクティベート解除 .....	10
Fiery オプションを自動でアクティベート解除する .....	10
Fiery オプションを手動でアクティベート解除する .....	10
アクティベート解除状況と LAC の表示 .....	11
Fiery オプションの再アクティベート .....	11
Fiery オプションを自動で再アクティベートする .....	11
Fiery オプションを手動で再アクティベートする .....	12
アクティベート済み Fiery オプションの復元 .....	12
Fiery オプションを自動で復元する .....	12
Fiery オプションを手動で復元する .....	13
Fiery オプションのトラブルシューティング .....	13
アクティベートするとエラーメッセージが表示される .....	13
アクティベート済み Fiery オプションが使用できない .....	14
アクティベート解除されたライセンスが再利用できない .....	14
無効なシステムクロック設定 .....	14
エラーメッセージ .....	14



# クライアントコンピューターの Fiery オプションライセンスの管理

クライアントコンピューターにインストールされている Fiery オプションを使用するには、まず一意のライセンスアクティベーションコード (LAC) を取得し、ライセンスをアクティベートする必要があります。

## ライセンスの取得

Fiery オプションのライセンスは、Fiery 販売店、プリンター製造元または [EFI eStore](#) から入手できます。

ライセンスを取得すると、次のタスクを実行できます。

- [Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ)
- [Fiery オプションのアップグレード](#) (9 ページ)
- [Fiery オプションのアクティベート解除](#) (10 ページ)
- [Fiery オプションの再アクティベート](#) (11 ページ)
- [Fiery オプションの復元](#) (12 ページ)

これらのタスクは、ライセンスアクティベーションページで実行できます。詳細は[ライセンスアクティベーション](#) (6 ページ) を参照してください。

## ライセンスを管理する

ライセンスの管理には、Fiery オプションのアクティベーション、アクティベート解除、再アクティベート、復元などのタスクが含まれます。EFI ライセンスサーバーが LAC 関連タスクを管理します。

ライセンスの管理は、お使いのコンピューターがインターネットに接続されているかどうかによって手順が異なります。

- コンピューターがインターネットに接続されている場合は、情報はコンピューターと EFI ライセンスサーバーの間で自動的に転送されます。
- コンピューターがインターネットに接続されていない場合は、コンピューターと EFI ライセンスサーバーの間で情報を手動で転送する必要があります。

組織がプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーの設定を指定する必要があります。

## プロキシサーバーの設定

コンピューターからライセンスサーバーに接続しようとしてもインターネット接続が検出されない場合は、所属組織がプロキシサーバーを使用してインターネットに接続している可能性があります。この場合はプロキシサーバーを設定してからライセンス処理を行います。

- 1 インターネット接続が検出されないというメッセージが表示された場合は、**ネットワーク設定**をクリックします。
- 2 必要な値を入力し、**適用**をクリックします。

## ライセンスアクティベーションページの使用

ライセンスアクティベーションページから **Fiery** オプションのライセンスを管理できます。ライセンスアクティベーションページには、アクティベートされている **Fiery** オプションとアクティベートできるオプションが表示されます。ライセンスアクティベーションページを使用して、次の操作を行うことができます。

- **Fiery** オプションのアクティベート

アクティベート済みの **Fiery** オプションに有効期限がある場合は、ライセンスアクティベーションページに有効期限日が表示されます。

- **Fiery** オプションのアクティベート解除

ライセンスを別のコンピューターに移すには、最初に現在のコンピューターで使用しているオプションをアクティベート解除する必要があります。アクティベートの解除によって、そのオプションのライセンスアクティベーションコード (LAC) が再利用できるようになります。

- 破損しているライセンスを修復して **Fiery** オプションを再アクティベートする

**Fiery** オプションのライセンスが破損していると、そのオプションはアクティベートされているように見えても機能はしません。コンピューターを起動すると、コンピューターはライセンスサーバーにアクセスして、破損したライセンスを再アクティベートしようとします。たとえばネットワークの中断などで再アクティベーションが失敗した場合は、オプションの再アクティベーションを試みることができます。LAC を入力する必要はありません。

- すでにアクティベート済みのオプションを再使用できるように、アクティベート済みの **Fiery** オプションを復元する

たとえばコンピューターにシステムソフトウェアを再インストールしたなどの理由で **Fiery** オプションのライセンスレコードが利用できない場合は、アクティベート済みのオプションがアクティベート状態として表示されません。コンピューターを起動すると、コンピューターはライセンスサーバーにアクセスして、ライセンスレコードを復元しようとします。たとえばネットワークの中断などで復元が失敗した場合は、オプションの復元を試みることができます。

## ライセンスアクティベーションページへのアクセス

**Fiery** オプションを有効にすると、ライセンスアクティベーションページにアクセスできます。

- 1 **Command WorkStation** のジョブセンターで、スプール済みジョブまたは処理済みジョブを右クリックします。

2 アクティベートする Fiery を選択します。

3 Fiery オプション管理ダイアログボックスでライセンスのアクティベートをクリックして、ライセンスアクティベーションページを開きます。

Fiery オプションをアクティベートすると、次のいずれかの方法でライセンスアクティベーションページにアクセスできます。

- Fiery オプションを開き、ヘルプメニューでライセンス管理をクリックします。
- Fiery オプションパッケージのライセンス通知で、ライセンスのアクティベートリンクをクリックします。詳細は、[ライセンス通知](#) (7 ページ) を参照してください。

ライセンスアクティベーションページはデフォルトの Web ブラウザーで開きます。ライセンスアクティベーションページのライセンスの管理で、ライセンスの履歴を表示して、[詳細設定](#)にアクセスします。

## ライセンス通知

インストールされている Fiery オプションのライセンスが有効期限に近づいたり、期限切れになったりした場合に通知が表示されます。有効期限が近いライセンスの通知は、ライセンスの有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前に表示されます。有効期限までの 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。通知は次の場所に表示されます。

- Command WorkStation ジョブセンターの右上角
- Command WorkStation のホームタブに一覧表示されている Fiery server 上

通知には、次のリンクが表示されます。

- [ライセンスのアクティベート](#) : ライセンスアクティベーションページを開き、ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートします。ライセンスのアクティベートは、ライセンス有効期限までの 90 日間表示されます。
- [詳細情報](#) : Fiery オプションのライセンス管理ヘルプを開きます。
- [詳細アイコン](#) (3 つのドット) は、選択した通知を次の有効期間まで非表示にします。しかし、有効期限までの最後の 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。

**メモ** : Fiery オプションのライセンス有効期限は、ライセンスアクティベーションページに表示されます。ライセンスの有効期限が Fiery オプションにも表示されるまでの日数。

## Fiery オプションのアクティベーション

Fiery オプションをアクティベートするときは、次の情報を記録します。

- オプション名
- ライセンスアクティベーションコード (LAC)

オプションをアクティベートしているクライアントコンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

## Fiery オプションを自動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベートできます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 ライセンスアクティベーションコードフィールドに LAC を入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **アクティベート**をクリックします。
- 5 アクティベート後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベート後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

## 一時ライセンスを自動アクティベートする

Fiery オプションを初めてインストールするときに EFI ライセンスサーバーが利用できない場合は、一時ライセンスを使用して Fiery オプションのアクティベートを続行できます。ライセンスアクティベーションページから一時ライセンスをアクティベートできます。

- 1 Command WorkStation のジョブセンターで、スプール済みジョブまたは処理済みジョブを右クリックし、Fiery オプションを選択してアクティベートします。
- 2 Fiery オプション管理ダイアログボックスでライセンスのアクティベートをクリックして、ライセンスアクティベーションページを開きます。  
ライセンスアクティベーションページで LAC をアクティベートできない場合は、ライセンスサーバーは使用できないが一時ライセンスはアクティベートできるというメッセージが表示されます。
- 3 一時ライセンスをアクティベートボタンをクリックします。
- 4 再起動をクリックします。

ライセンスアクティベーションページで、一時ライセンスの有効期限を表示できます。

## 追加情報

- 一時ライセンスオプションは、Fiery Command WorkStation 6.7 以降でのみ使用できます。
- Fiery オプションをアクティベートするコンピューターは、インターネットに接続されている必要があります。
- 以下の場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
  - EFI ライセンスサーバーを使用できない場合
  - Fiery オプションを初めてインストールしている間

- クライアントコンピューターのオペレーティングシステム (Windows または Mac) を再インストールすると、一時ライセンスをアクティベートできます。一時ライセンスは、新しい (新規) OS がインストールされているクライアントコンピューターでもアクティベートできます。どちらの場合も、EFI ライセンスサーバーが利用できない場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
- 一時ライセンスは 35 日間のみ有効です。この期間中に LAC をアクティベートしてください。

## Fiery オプションを手動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションをアクティベートします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。( [ライセンスアクティベーションページへのアクセス \(6 ページ\)](#) を参照)
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 ライセンスアクティベーションコードフィールドに LAC を入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **続行**をクリックして、手動処理を進めます。
- 5 **要求ファイルの作成**をクリックしてファイルを保存します。
- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、<https://licensing.fiery.com/>にアクセスします。
- 8 **参照**をクリックし、要求ファイルを選択してから**アップロード**をクリックします。
- 9 **続行**をクリックします。
- 10 **ライセンスファイルダウンロード**をクリックしてファイルを保存します。
- 11 最初にライセンスアクティベーションコードを入力したコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 12 **ライセンス生成ウィンドウ**に戻り、**はい**をクリックします。
- 13 **参照**をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**アクティベート**をクリックします。
- 14 アクティベート後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベート後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

## Fiery オプションのアップグレード

Fiery server でサポートされている場合は、Fiery オプションから別のオプションにアップグレードできます。

たとえば Fiery JobMaster をサポートする Fiery server を所有している Fiery Compose の顧客は、アップグレードライセンスを購入することにより、Fiery Compose から Fiery JobMaster にアップグレードできます。

Fiery Compose から Fiery JobMaster にアップグレードするには、まず Fiery Compose ライセンスをアクティベートしてから、Fiery JobMaster アップグレードライセンスをアクティベートする必要があります。Fiery JobMaster にアップグレードした後は、Fiery Compose ライセンスをアクティベート解除しないでくださ

い。Fiery Compose をアクティベート解除し、Fiery JobMaster を使用しようとする、Fiery Compose ライセンスの再アクティベートを求めるメッセージが表示されます。詳細は、『Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose のヘルプ』を参照してください。

## Fiery オプションのアクティベート解除

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベート解除できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

### Fiery オプションを自動でアクティベート解除する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベート解除できます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、アクティベート解除をしたいオプションの横にあるアクティベート解除をクリックします。

**メモ：**オプションの横にアクティベート解除ボタンがない場合、そのオプションは dongle でアクティベートされています。

- 3 アクティベート解除の確認画面でアクティベート解除をクリックします。
- 4 完了をクリックします。

Fiery オプションがアクティベート解除されます。

### Fiery オプションを手動でアクティベート解除する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと EFI ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、EFI ライセンス Web サイトに送信して、LAC を別のコンピューターでアクティベートできるようにします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。 ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、アクティベート解除をしたいオプションの横にあるアクティベート解除をクリックします。

**メモ：**オプションの横にアクティベート解除ボタンがない場合、そのオプションは dongle でアクティベートされています。

- 3 アクティベーション解除の確認画面でアクティベート解除をクリックします。
- 4 続行をクリックして、手動処理を進めます。

- 5 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。  
Fiery オプションがアクティベート解除されます。
- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、[licensing.efi.com](http://licensing.efi.com) にアクセスします。
- 8 参照をクリックし、要求ファイルを選択してからアップロードをクリックします。  
LAC が再利用できるようになります。

## アクティベート解除状況と LAC の表示

履歴にはアクティベート解除されたオプションや期限切れのオプションと、対応する LAC が表示されます。特定のオプションをアクティベート解除するボタンがある場合は、アクティベート解除が完全に行われていないことがあります。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。( [ライセンスアクティベーションページへのアクセス \(6 ページ\)](#) を参照)。
- 2 右上角の履歴アイコンをクリックします。
- 3 アクティベート解除を完了するには、オプションの横にあるアクティベート解除をクリックし、手動でのアクティベート解除を続行します。

## Fiery オプションの再アクティベート

アクティベート済みライセンスが破損していて、コンピューターからライセンスサーバーに接続して再アクティベートできない場合は、ライセンスアクティベーションページを使用してオプションを再アクティベートできます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で再アクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

## Fiery オプションを自動で再アクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的に再アクティベートできます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。( [ライセンスアクティベーションページへのアクセス \(6 ページ\)](#) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、再アクティベートしたいオプションの横にある再アクティベートをクリックします。

## Fiery オプションを手動で再アクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと EFI ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、EFI ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを再アクティベートします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、再アクティベートしたいオプションの横にある再アクティベートをクリックします。
- 3 続行をクリックして、手動処理を進めます。
- 4 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。
- 5 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 6 ブラウザーを開き、[licensing.efi.com](http://licensing.efi.com) にアクセスします。
- 7 参照をクリックし、要求ファイルを選択してからアップロードをクリックします。

ライセンスファイルが生成されます。

- 8 ライセンスファイルダウンロードをクリックしてファイルを保存します。
- 9 オプションを再アクティベートするコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 10 ライセンス生成ウィンドウに戻り、はいをクリックします。
- 11 参照をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、アクティベートをクリックします。

## アクティベート済み Fiery オプションの復元

すでにアクティベート済みのオプションが使用できず、コンピューターからライセンスサーバーにアクセスしてもオプションを復元できない場合は、ライセンスアクティベーションページを使用してオプションを復元できます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で復元できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

## Fiery オプションを自動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、以前アクティベートされた Fiery オプションを自動的に復元できます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)。
- 2 右上角の詳細設定をクリックし、復元をクリックします。  
Fiery オプションが復元されます。

- 完了をクリックします。

## Fiery オプションを手動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと EFI ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、EFI ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを復元します。

- ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)
- 右上角の詳細設定をクリックし、復元をクリックします。
- 続行をクリックして、手動処理を進めます。
- 要求ファイルの作成をクリックしてファイルを保存します。
- インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- ブラウザを開き、[licensing.efi.com](http://licensing.efi.com) にアクセスします。
- ファイルの選択をクリックし、要求ファイルを選択して、要求ファイルのアップロードをクリックします。ライセンスファイルが生成されます。
- ライセンスファイルダウンロードをクリックしてファイルを保存します。
- オプションを復元するコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- ライセンス生成ウィンドウに戻り、はいをクリックします。
- 参照をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、復元をクリックします。

## Fiery オプションのトラブルシューティング

Fiery オプションの管理中に発生した問題をトラブルシューティングできます。

### アクティベートするとエラーメッセージが表示される

エラーの詳細情報と対処策を示すエラーメッセージが表示されます。

- エラーについての詳細は、[エラーメッセージ](#) (15 ページ) を参照してください。テクニカルサポートに連絡するように指示するメッセージが表示された場合は、まず診断ログファイルを生成する必要があります。
- 診断ログファイルを生成するには、ライセンスアクティベーションページを開きます ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 右上角の詳細設定アイコンをクリックし、診断ログをクリックして診断ログファイルを生成します。

4 テクニカルサポートに連絡する場合は、次の情報を送付する必要があります。

- アクティベートしようとしているオプションの名前
- ライセンスアクティベーションコード (LAC)
- 診断ログ

## アクティベート済み Fiery オプションが使用できない

Fiery オプションのライセンスレコードが使用できない場合があります。これは、コンピューターにシステムソフトウェアを再インストールした場合や、システムを以前の状態に戻した場合に生じることがあります。

EFI ライセンスサーバーからライセンスを復元するには、ライセンスアクティベーションページを開きます ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照してください)。右上角の [詳細設定](#) アイコンをクリックし、[復元](#) をクリックします。

## アクティベート解除されたライセンスが再利用できない

ライセンスを手動で非アクティブ化し、[licensing.efi.com](http://licensing.efi.com) にアップロードしたときにアクティベーション解除要求ファイルが拒否された場合、そのライセンスは再利用できません。

- 1 EFI ライセンスサーバーからライセンスを復元するには、ライセンスアクティベーションページを開きます ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照してください)。
- 2 右上角の [詳細設定](#) アイコンをクリックし、[復元](#) をクリックします。
- 3 アクティベート解除を再度試します。
- 4 ライセンスを復元できない場合は、Fiery 販売店またはプリントデバイス製造業者にサポートを依頼してください。

## 無効なシステムクロック設定

システムクロックの日付と時刻の設定が正しくない場合、コンピューターを EFI ライセンスサーバーに接続できないことがあります。この場合は、コンピューターの時計をリセットしてください。

## エラーメッセージ

エラーメッセージにはエラーの詳細情報と対処策が表示されます。エラーメッセージは、ライセンスアクティベーションソフトウェアと EFI ライセンス Web サイトに表示されます。

より詳細な情報やサポートが必要な場合には、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) でディスカッションを始められます。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
ライセンスアクティベーションソフトウェアから		
OFA0020	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。
OFA0010	選択したライセンスファイルは無効です。別のファイルを選択して再実行してください。	手動アクティベーション中に、EFI ライセンス Web サイトからライセンスファイルが取得されました。アップロードするライセンスファイルが正しく選択されていることを確認してください。  まだエラーが発生する場合は、Fiery オプションを復元して再度アクティベートしてください。
OFA0090	内部エラー。EFI テクニカルサポートに電話してください。	ライセンスファイルに問題があります。アクティベーション処理を最初からやり直してください。まだエラーが発生する場合は、オプションを復元して再度アクティベートしてください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
OFA0060	エラー <エラー番号> プロキシ設定が不正か、あるいはプロキシサーバーがダウンしています。	インターネット接続がありません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0030	インターネット接続を確立できません。	インターネット接続がありません。プロキシ設定が正しいことを確認して再実行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0080	エラー <エラー番号> ライセンスセッションは期限切れです。ライセンスセッションを再開してください。	ライセンスアクティベーションソフトウェアは、これよりも後に別のブラウザウィンドウですでに使用されています。使用中のウィンドウを閉じてから、新規に開いて作業を続行します。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
OFA00105	エラー <エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。	ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを提示してください。
OFA0070	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールは破損しています。 Command WorkStation を再インストールして再実行してください。	Command WorkStation を再インストールして再実行してください。  Windows では、コントロールパネル>プログラムの追加と削除を選択し、Fiery ユーザーソフトウェアをメンテナンスモードで起動します。修復オプションを選択し、Command WorkStation を選択します。  Mac OS では、Fiery Software Uninstaller を使用して Command WorkStation をアンインストールし、再度 Command WorkStation をインストールします。
OFA0050	要求されたオプションをアクティベート解除できません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再実行してください。それでも解決しない場合は、ライセンスアクティベーションページからライセンスを手動でアクティベート解除します。詳細は、 <a href="#">ライセンスアクティベーションページへのアクセス</a> (6 ページ) を参照してください。  ライセンスアクティベーションページで、右上角にある履歴アイコンをクリックします。アクティベート解除するライセンスを特定します。アクション列のアクティベート解除アイコンをクリックして、手動アクティベート解除ファイルをダウンロードします。ライセンスサーバーが使用可能になったら、 <a href="http://licensing.efi.com">licensing.efi.com</a> に移動し、手動アクティベート解除ファイルをアップロードして、LAC のアクティベート解除を完了します。
OFA0040	要求されたオプションを再アクティベートできません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再実行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA00115	復元可能なオプションはありません。	このコンピューターではアクティベート済みのライセンスが見つかりません。すでにアクティベートされたライセンスがある場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
EFI ライセンスサーバーから		
EBIS0004	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
EBIS0007	このオプションはすでにアクティベートされています。	LAC がアクティベートするオプションに適切であることを確認してください。
EBIS0016	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。 別のコンピューターで使用しているライセンスをアクティベート解除すれば、現在使用しているコンピューターでアクティベートできます。
EBIS0018	最初にアップロードする要求ファイルを選択する必要があります。	送信された要求ファイルが正しくないか、要求ファイルが破損しています。別の要求ファイルを送信してください。再度エラーが発生した場合は、要求ファイルを再生成してください。
EBIS0025	ライセンスをアクティベートできません : エラーコード <番号>	EFI ライセンスサーバーでエラーが発生しました。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコード、LAC、使用している Fiery サーバーのシリアル番号を伝えてください。
EBIS0002	EFI ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。	EFI ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。
EBIS0006	ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートできません。 LAC でアクティベートした機能が使用している製品に適切であることを確認してください。	LAC でアクティベートした機能が使用している Fiery サーバーモデルに適切であることを確認してください。
EBIS0011	使用しているシステムはこのオプションに含まれている一部の機能をサポートしていません。続行しますか？	LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はサポートされていません。サポートされている機能のみに有効な LAC を新規に取得してください。 このまま続行すると、サポートされていない機能が使用できなくなり、LAC も使用できなくなります。
EBIS0008	このオプションの中には、すでにアクティベートされている機能があります。続行しますか？	LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はすでにアクティベート済みです。まだアクティベートされていない機能にのみ有効な LAC を新規に取得してください。 このまま続行すると、同一の機能に 2 回課金されます。
EBIS0026	ライセンスをアクティベート解除できません : エラーコード <番号>	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	対策
EBIS0024	ライセンスを再アクティベートできません : エラーコード <番号>	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
EBIS0027	このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。	このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。